

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24-1-048
補助事業名 平成24年度 国際交流の推進活動 補助事業
補助事業者名 一般財団法人 中東協力センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

中東地域は、我が国にとって石油・天然ガスの安定調達先として極めて重要である。原油高を背景に中東各国は従来の石油依存経済の脱却をめざし、外資導入による経済発展をめざしている。一方長年にわたる懸案事項であるパレスチナ問題に加え、2001年9月の米国同時多発テロに端を発するアフガン戦争、それに続くイラク戦争等の戦後処理など、政治的には引き続き不安定で緊迫した状態が続き、ビジネス面でのリスクは高い。特に産油国経済は上昇を続ける石油価格を背景にオイルマネーが流入し、昨今は著しく活況を呈してきている。

また中長期的にも、化石原・燃料資源の豊富な賦存状況、高い人口増加率等の面から、今後とも相対的に高い成長が見込まれる地域であり、我が国機械工業関係企業にとって、プラント、機械類を中心としたビジネス・ポテンシャルは高く、我が国機械工業の振興に今後とも資するところ大なる地域である。

このように高いポテンシャルを持つこの地域で、日本の機械工業関係企業が欧米を中心とした競合先に伍してビジネス・チャンスを的確に捕捉し、取引実績・成果を上げていくためには、先ずその第一歩として、中東を巡る政治・経済情勢、文化、歴史、宗教等広汎な分野に亘り正確な理解が不可欠である。

当センターの貴振興会補助事業は我が国機械工業関係者に、中東についての最新の情報を提供し、中東におけるプラント、機械類を中心としたビジネスの拡大を目的とするものである。

(2) 実施内容

① 国際交流：先端技術フォーラム

<http://itrade.gov.il/japan/isarel-life-science-forum-2013/> (URL)

駐日イスラエル大使館との共催で「イスラエル・ライフサイエンス・フォーラム2013」を、大阪商工会議所およびホテルオークラ東京において開催。今回は、成長著しいライフサイエンス産業に焦点を当て、両国間の技術交流およびビジネス・パートナーシップを構築する目的で実施。フォーラムでは、イスラエルのベンチャーキャピタルによる有望シード企業、ITメディカル、新種子開発、産学官連携と技術移転、幹細胞研究、切らずに治す癌治療、携帯糖尿病診断キットなどを演題に、それぞれの最新技

術等を紹介。また、フォーラムと同時並行でイスラエル企業と日本企業による個別面談の機会を設置。

フォーラムの様子



大阪会場



東京会場

2 予想される事業実施効果

① 国際交流：先端技術フォーラム

イスラエルが世界的に優位に立つ先端産業分野を広く日本の機械工業界に紹介し、技術提携等今後の関係の発展・強化が期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

① 国際交流：先端技術フォーラム

「イスラエル・ライフサイエンス・フォーラム2013」

ブックレット 作成部数 300部

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 中東協力センター（チュウトウキョウリョクセンター）

住所： 〒102-0075

東京都千代田区三番町8-1

代表者： 会長 奥田 碩（オクダ ヒロシ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 総務部長 中島 馨（ナカジマ カオル）

電話番号： 03-3237-8026

F A X： 03-3237-8018

E - m a i l： nakajima@jccme.or.jp

U R L： <http://www.jccme.or.jp/>